

防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年04月23日(木)	管理者	主任	担当者
施設名	いちごの家		加藤	佐藤
実施担当者	佐藤 礼子			
参加者	メンバー			計 4 名
	スタッフ 佐藤礼子			計 1 名
	V。他			計 0 名
				合計 5 名


今回の目的	炭の着火訓練・防災用品確認
実施内容	<p>炭の着火の仕方を、説明書きを観ながら実際には火を使わないで練習する。</p> <p>その後防災用品の消費期限や、賞味期限などのチェックをする。</p> <p>個人のリュックの中身を、入居者の方たちと中身を出してチェックする。</p> <p>こんなものはいっているのねなどといわれるかたもいらっしゃいました。</p> <p>実際にリュックをしょってみると、けっこう重いのねという意見もありました。</p>
評価	<p>個人のリュックの中には、あと半年もしないうちに賞味期限が切れるものもあったのでそろそろ買い足すことが必要と思われる。</p> <p>個人のリュックについては、軽くした方がいいと思いました。</p> <p>炭の着火については何回目かの練習もあり身についてきていると思います。</p>
次回内容	避難経路確認・消火器訓練、消火器点検

防災リュックの確認、職員主体で実施してしまう事業所が多い中、入居者の皆さんと一緒に実施できたことは大変良い事だと思います。また、その中でリュックの重さを体験したこともきっと実践で役立つことと思います。

防災責任者: 佐藤礼子



防災訓練 実施 報告書

実施日	2014年5月21日(木)	管理者	主任	担当者
施設名	いちごの家		加藤	佐藤
実施担当者	佐藤 礼子			
参加者	メンバー	計 4 名		
	スタッフ 佐藤礼子	計 1 名		
	その他	計 0 名	合計 5 名	

今回の目的	避難経路確認 消火器点検・消火器訓練
実施内容	<p>夕食を食べ終えた後に、リビングに集合して「もしお風呂から火災が発生したらみんなはどうする」という話からしてみました。『逃げます。』という意見は聞かれましたがどこを逃げるかまでは考えていなかったらしく「じゃどこから逃げる。」と聞いてみると、『玄関』などと話されていました。そこでお風呂から出火した場合は、リビングに居る場合はお風呂の横を通るよりもデッキのところから出た方が安全ではないかと話し合っています。</p> <p>逆に2階にいる場合には玄関から逃げた方が安全だという話にもなりました。</p> <p>その後は、裏の畑に一時避難する旨もお伝えしました。</p> <p>消火器訓練については、メンバーの前で使い方を職員が実際行って見て頂きましたが、火事などの場合は避難することを優先してくださいとお伝えしています。</p> <p>消火器については27年3月4日に充てん済みのため使用可能です。</p>
評価	<p>今回は話し合いでどのようには何するかなどを話し合いましたが、逃げることはわかっているようですが実際にどのように逃げたら良いのかまでは解っていない方もいらっしゃいました。来月の避難訓練では今月のことを思い出してもらいながら行いたいと思います。</p> <p>消火器訓練については、水消火器を借りてきてメンバーにも体験してもらいたいと思います。</p>
次回内容	火災を想定した訓練・消火器点検・消火器訓練


有事の際は、誰しもがパニック状態になり、いつもと同じような避難が出来ないことも想定されます。その中で、職員がどれだけ冷静で正しい指示が出せるか、それが要になるのではないのでしょうか。




防災責任者: 佐藤礼子



防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年6月25日(木)	管理者	主任	担当者
施設名	いちごの家		加藤	佐藤
実施担当者	佐藤 礼子			
参加者	メンバー	計4名		
	スタッフ 佐藤礼子・高橋留美・春田恵吏加	計3名		
	その他	計 名	合計7名	
今回の目的	火災を想定した避難訓練 消火訓練・消火器点検			
実施内容	<p>事前に夕食を食べた後に避難訓練を行うことをメンバーの皆さんに伝えておき、食後の18時30分に職員の「火事だ」の合図で避難をして頂いた。</p> <p>火災の発生した場所が今回はお風呂を想定しているのでリビングに居たAさんとBさんはリビングの窓からデッキをつたって裏の畑に春田さんに付き添って頂き非難した。</p> <p>2階の自室にいたCさんとDさんは高橋さんに付き添って頂き玄関から非難した。裏の畑までの避難でしたが無事に終了することが出来た。</p> <p>いちごの家に帰ってから、実際に火事が発生した時にどこから逃げるのが一番いいのかもう一度話し合ったが、皆さんは良くわかっていないらしく答えは返ってこなかった。</p> <p>実際は職員が一人の場合もあるので、慌てないで職員の指示に従って避難して頂くように伝えて話し合いは終わった。</p> <p>消火器訓練については水消火器が借りれなかったため、職員が消火器をもって火を消す様子を見て頂く。</p> <p>消火器の点検については、点検も27年3月4日に行っており損傷部分もないため使用可能だと思われる。</p>			
評価	<p>裏の畑までの避難については、スムーズに行うことが出来、5分くらいで避難することが出来たが、実際の火事になった場合はメンバーの皆さんが慌ててしまうことが想定されるため、何度も繰り返しの訓練が必要だと思われる。火災発生場所によって避難する経路が変わることをあまり認識していないため、何度も話して練習していくことが必要だと思われる。</p> <p>水消火器についてはもう少し暖かくなってから行いたいと思います。</p>			
次回内容	地震を想定した避難訓練・ヘルメットの着脱			

避難の際に転倒等の心配があるため、職員の繰り返しの練習が必要になりますね。

防災責任者: 佐藤 礼子 

防災訓練 実施 報告書


実施日	2015年7月23日(木)	管理者	主任	担当者
施設名	いちごの家		加藤	佐藤
実施担当者	佐藤 礼子			
参加者	メンバー	計4名		
	スタッフ 佐藤礼子	計1名		
	V。他	計0名	合計5名	
今回の目的	地震を想定した避難訓練 ヘルメットの着脱			
実施内容	<p>今回は夕食後の19時くらいに皆さんがリビングでお茶をしているときに、地震が発生したことを想定して職員の「地震だ」の掛け声で訓練を開始した。</p> <p>皆さん机の下にもぐっては出来ていましたが、お尻が出ていたり、すぐにテーブルの下から出てきたりしていました。</p> <p>ヘルメットの着脱に関しては、ヘルメットのひもの長さがまちまちで実際かぶる時にはかぶりずらそうで時間がかかっていた。</p> <p>ひものサイズがあっていないのでゆるゆるの人もいた。</p>			
評価	<p>地震の時にテーブルの下に隠れることは皆さん知っているようだが、職員の指示があるまでテーブルの下にもぐっていることが出来ない方がいたことと、お尻が出ている方には、避難訓練の時に本人にお伝えして、最後に皆さんと話し合った時に再度徹底して頂くようにお話をした。</p> <p>ヘルメットに関しては今は名前がついていないが、名前を貼って個人個人のひもの長さに合わせてかぶりやすいようにしていきたいと思います。</p>			
次回内容	転倒防止器具の点検・消火器点検			

防災訓練をやられた後に入居者を含め、ふりかえりをしてい
ころは他事業所にも伝え取り入れていきたいと思ひます。

防災責任者:佐藤 礼子



防災訓練 実施 報告書

実施日	2015年10月3日(土)	管理者	主任	担当者
施設名	いちごの家		加藤	加藤
実施担当者	加藤 学			
参加者	メンバー			
				計 3 名
	スタッフ	鈴木優梨	計 1 名	
	V。他	計 名		合計 4 名

今回の目的	地域防災拠点への避難訓練
実施内容	<p>今回の避難訓練はみかんの家と合同で行っています。</p> <p>8:45 避難訓練開始、Aさんの車椅子は加藤が押し、みかんの家入居者の車椅子は鈴木が押しています。今回は職員が怪我をして避難できない場合を想定しての避難訓練なので、先頭にみかんの家のBさんが歩き皆さんを誘導し、その後ろを車椅子のAさん・加藤が歩き、みかんの家、いちごの家の入居者、鈴木(車椅子介助)の順番で避難しています。</p> <p>9:00 中和田南小学校到着、Aさんが選んでくれた避難経路は、一番安全だと考えられる経路だったので「もし職員が怪我をして動けない場合は、Aさんの指示に従って今回のルートで小学校まで避難してください」と伝えています。</p> <p>帰りも同じ経路で小泉さんを先頭にホームまで戻っています。</p> <p>9:15 ホーム到着、避難訓練を終了しています。</p>
評価	<p>皆さん指示役のAさんの指示に従い、安全に避難できていたと思います。</p> <p>長濱さん・住田さんは避難訓練中はぐれないように、ずっと手を繋いで歩いていましたが、歩道が狭い場所などは手を放し、一列になって避難できていました。</p> <p>車椅子では通れないくらい歩道が狭い場所があり、車道を通って避難しましたが、車通りが多い場所なので十分注意して避難する必要があります。</p>
次回内容	合同防災会議

ホームは少ない職員体制で対応しなければいけないだけでなく、いちごの家は一人で避難できない方もいらっしゃるので、日ごろからみかんの家と協力体制をとっておくことは大切だと思います。

防災責任者: 加藤学

